

## 暴走反応熱量計

### ◆仕様

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| メーカー・形式 | ネッチ・ジャパン 暴走反応熱量計(Netzsch ARC244 型) |
| 測定雰囲気   | 空気雰囲気 or 窒素雰囲気                     |
| 測定範囲    | 40°C～400°C(攪拌試験時:40°C～300°C)       |
| 圧力範囲    | 0bar～170bar                        |
| 使用ポンプ   | SUS316 or ハステロイ                    |
| 試料量     | 0.5g、mL～6g、mL(混触試験の追加試料は液体のみ)      |

### ◆特徴

ARC は、断熱条件下での発熱反応の温度、圧力、時間の関係を測定するために精密に自動化された実験装置です。

反応性化学物質の製造・貯蔵工程における熱分解等の危険性を実験的に予測するためには、通常「熱分析試験(DSC)」や「熱天秤試験(TG)」が用いられていますが、これらの試験装置で扱う試料の量は数ミリグラムときわめて小さく、分解温度や分解熱の値が測定時の昇温速度に依存するという問題があります。

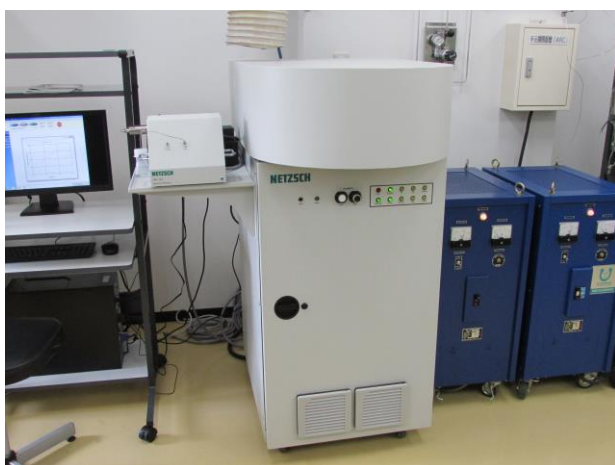
ARC では、断熱下で熱分解させるため、熱爆発の可能性を持つ反応の活性化エネルギー、圧力上昇速度等の熱危険性及び圧力危険性を評価するのにより有効なデータを提供します。

弊社ではネッチ・ジャパン製の暴走反応熱量計を保有しております。

ネッチ・ジャパン製暴走反応熱量計では「**混触**」や「**攪拌**」の試験を行なうことが可能です。

「**混触**」や「**攪拌**」の詳細につきましては、弊社 厚狭工場 危険性評価室(0836-72-1150)までお問合せください。

【ネッチ・ジャパン製暴走反応熱量計】



【ポンプ】

